

# 平成 21 年 通常 総 代 会 開 催

平成 21 年 3 月 18 日 (水) 午前 10 時 両総土地改良区会議室において開催され、来賓として農林水産省関東農政局並びに千葉県農林水産部よりご臨席いただき、盛会に執り行われました。

## ごあいさつ (要約)



理事長職務代理者

副理事長 **石橋 清孝**

国営事業維持管理計画変更に伴い、4月から組合員約2万1千人に対し同意徴集が本格的に始まります。

目的は新設された大規模な施設を基幹水利事業にのせることにより維持管理費の軽減を図るものです。ご理解とご協力をお願いいたします。

組合費の改定について、平成22年より5ヶ年掛けて段階的に一律化し、地積割に改定することが、昨年の臨時総代会で可決決定されております。

今後いかに、農地に係る土地改良関係の賦課金を軽減出来るかを目的として、組合費負担検討特別委員会の中に管理委員会支部、重複土地改良区、水源費の各検討部会を作り、各部会毎に協議をしているところです。



農林水産省関東農政局  
両総農業水利事業所

所長 **高祖 幸晴 様**

日本国内では今、生産額の減少、就業者の減少や高齢化、農地面積の減少などにより、我が国の農業は存亡の危機に瀕しているとも言えます。世界的には食料の需給がひっ迫すると予想される中、食の安全に対する懸念の増大とともに相まって、安全な食料の安定供給や自給力の向上が強く求められています。このような観点からこれまでの農業政策を検証し、必要なものについては、見直しをすることが求められています。

また、関係者のご協力をいただきながら耕作放棄地を解消する取組みを進めるとともに、安定的な用水供給機能の確保により、農業水利を中心とした農業を支える基盤を保全していくほか、水田フル活用により大豆・麦や飼料作物の生産拡大とあわせ、米粉用、飼料用等の新規需要米の本格生産などにも取り組んでいくこととしています。



千葉県農林水産部

次長 **内田 芳雄 様**

農林水産部の平成21年度当初予算で土地改良事業予算につきましては、担い手の育成をはじめ、農地の利用集積を促進する基盤整備事業、老朽化した農業水利施設を計画的に更新するストックマネジメント事業、自然災害を未然に防止する防災事業等に重点を置き141億1300万円を予算化しました。

この予算には、平成21年度から実施を予定しております「県営かんがい排水事業 両総茂原南地区」にかかる予算も盛り込まれております。

また、平成19年度から導入された農地・水・環境保全向上対策については、遊休農地の解消、農業用施設の維持保全、植栽などの共同活動や環境にやさしい営農活動に2億3200万円を計上しております。